

国際レアメタル&リサイクル研究会 www.irrsg.com
(International Raremetal&Recycling Study Group)

～IRRSG 会の歩み～

2005年～不定期に例会を開催。4～5人程度の同志集会。

2006年～ 同上（名称だけは国際リサイクル研究会に）参加者は10人程度
～国際リサイクル研究会（IRSG）の会長にDOWAエコシステムの加藤（秀）氏。このときすでに現在の首脳陣であるAMJCの中村（繁）氏、JFEスチールの民田氏も集会に参加していた。

2007年春～赤坂のベルビー赤坂8階の花回廊で約30名のパーティを開催。現在のIRRSGの主要メンバーが集結。

2007年夏～赤坂の「ルシャレの台所」にて、約40名のパーティを開催。おぼろげながら会長はJFE民田氏、副会長にAMJ中村氏に。監査役として秋田大の柴山先生、早稲田大の大和田先生。このときのスペシャルゲストは国連大学の谷口先生と東北大学とDOWA兼務の白鳥寿一さん（人工鉱床提唱者の御一人）。

* なかなか盛り上がってきたため、本格的に講演会もつけてやったらどうか？という意見が多数寄せられたため、これ以降、講演会+懇親会という体裁をとる。

2007年10月21日 IRRSG at はあといん乃木坂～参加人数 60名

*この会から会名を国際レアメタル&リサイクル研究会（IRRSG）に改名。

（基調講演）

- ① コバルトと新エネルギー～三井物産(株)ステンレス原料・新金属部 榎本氏
- ② 製錬リサイクルの現況～DOWAエコシステム(株) 環境ソリューション室長 加藤秀和氏
- ③ レアメタル四方山話～アドバンストマテリアルジャパン(株) 中村繁夫氏

* 非常に密度の濃い講演3本で大変に盛り上がる。この会から東大・生産研の岡部先生や経済産業省非鉄金属課の岩野課長（当時）らも参加されるようになる。

2008年2月21日 IRRSG at はあといん乃木坂～参加人数 110名

（基調講演）

- ① 日本のレアメタル政策の展開～経済産業省製造産業局非鉄金属課 岩野宏課長
- ② わが国の資源蓄積推定～（独）物質材料研究機構（NIMS）材料ラボ長、元素戦略クワスター長 原田幸明氏

（パネルディスカッション）

～わが国の資源問題についてなど～

パネラー・・・①国連大学・谷口先生、②NIMS 原田氏、③経済産業省・岩野課長、④DOWA
エコシステム・加藤氏、⑤AMJ・中村氏

* 基調講演でもエネルギッシュなプレゼンを展開していただいた原田先生がPDでも参
加者の DominicBoyle 氏 (from WOGENresources) と活発な議論を戦わしおおいに
盛り上がる。懇親会でも飛び入り参加の方々多く、特にナストーアの藤田氏、怪気炎を
あげる。ポンド磁石業界から東京フェライトさん、浜野先生らが初参加、

2008年 6月6日 IRRSG at はあといん乃木坂～参加人数 100名

(基調講演)

ステンレス原料を取り巻くいくつかの話題～新日鉄住金ステンレス(株)原料室長久保雄司氏
(パネルディスカッション)

～人材育成、資源問題に対する誤解など～

パネラー・・・①早稲田大 大和田先生、②秋田大 柴山先生、③東大 岡部先生、④新
日鉄住金ステンレス(株) 久保氏、⑤AMJ 中村氏 * 飛び入りで菅原直之君

* アカデミックかつグローバルなステンレス原料に関する NSSC 久保氏の基調講演は予
定時間をややオーバーするほどの熱演で、状況を知っている方も知らない方も皆聞き入
っていた。パネルディスカッションはこれまでの IRRSG 会ではやらなかったような
大きなテーマを取り上げた。元々、IRRSG 会は異業種ミックス、ボーダーレスの会で、
幅広い話題を取り上げることを是としているため、賛否両論ありつつも着実に成長して
いることが確認された会であった。

2008年 11月7日 IRRSG at 明治大学・紫紺館～参加人数 約80名

(講演)

① 「三井金属グループの貴金属リサイクルについて」

講師：三井金属鉱業(株) 金属・環境事業本部 宮本成紀氏

② 「小型家電リサイクルの意義と展開状況」

講師：東北大学 多元物質科学研究所 中村崇教授

③ 「レアメタルビジネスの最新動向と 2009 年度の市況動向予測」

講師：AMJ (アドバンストマテリアルジャパン(株)) 代表取締役社長 中村繁夫氏

* 三井金属の宮本さん、東北大学の中村崇教授は IRRSG 会初登場。リサイクルビジネス
に力を入れている三井金属さんは会社の歴史から各事業の説明、リサイクルビジネスの
フォーメーションまで懇切丁寧に講演された。東北大学の中村教授は秋田から始まった
「小電リサイクル」の提唱者であり、現在ではレアメタルリサイクルだけでなく、国の
重要な資源政策にも関係されている先生のお一人。IRRSG 会の副会長として存在感抜

群の AMJC 中村社長は世界同時金融危機の現在からレアメタル市場を分析。ベースメタル、鉄鋼材料、機能性材料、電子材料など分野別金属材料の市況変動から、かねてより提言している新備蓄構想案、元素別の市場動向を解説された。

2009年 1月23日 IRRSG at 学士会館（東京・神保町）～参加人数 80名

(講演)

① 「インドの社会情勢および産業動向」

講師：(財) 海外職業訓練協会 (OVTA) の高山憲二氏 (元三井金属)

② 「最近の国際商品市況を取り巻く環境 (+世界のステンレス鋼需要動向)」

講師：新日鉄住金ステンレス(株) (NSSC) 原料室長 久保雄司氏

③ 「中国人のビジネスカルチャー」

講師：グローバルビジネスサポートマーケティング代表の安見昭氏

* 2009年第1回目の IRRSG 例会はまたまた場所を移して神保町は学士会館へ。クラシックかつ威厳ある面容は実力派揃いの IRRSG 会にぴったりだということで、事務局長棚町が企画。NSSC の久保氏はこの時で IRRSG 講演早くも 2 回目の登壇。08 年秋からの資源価格大暴落、需要縮減の波はステンレス業界にも及び、業界は不振の極みにあった。そのなかで、久保氏に講演を依頼したのは、なにゆえに最悪の環境ができてしまったのかということを検証するためであった。OVTA の高山氏は IRRSG 初登場。いささか緊張感ある講演ではあったが、逆に新鮮にも映り、新しいキャラクターが IRRSG 会に登場した。グローバルビジネスサポートの安見氏も IRRSG 初登場。氏が JABM (日本ボンド磁性材料協会) で講演されていたものを棚町が見聞き、その面白さゆえに講演を依頼し、IRRSG 登壇となった。

09 年第 1 回例会は告知期間が短く、正月明けということもあり、思ったほど参加者が伸びず。前回の 08 年 11 月の例会に続いての 100 人割れで首脳陣、事務局ともども先行きにやや危惧を抱く。

2009年 6月4日 IRRSG at 学士会館（東京・神保町）～参加人数 140名！

メインテーマ「クルマと電池とレアメタル」

(講演)

① 「商業車におけるハイブリッド車の動向」

講師：(株)いすゞ自動車研究所 技術参与 賀川義雄氏

② 「二次電池の現状と今後の展開」

講師：(独) 物質材料研究機構 高田和典氏

③ 「リチウム資源および市場分析～チリ SQM 社訪問記」

講師：神鋼リサーチ(株) 持続型社会システム研究部 北浦伸幸氏

* パーティ形式の IRRSG 会 (前身の IRSG 会含む) から数えて通算 9 回目となる IRRSG 例会、2009 年第 2 回例会は前回と同じく学士会館で 6 月 4 日に開催した。講演内容が「クルマと電池とレアメタル」という旬の内容であったことと、前回までの反省?を活かし、HP の充実、告知の改善などを行った結果、想定を大幅に上回る 140 名という参加者に恵まれた。もちろん現在までのレコードである。

それぞれが重要な講演であると同時に、阪和興業の北社長様が初参加されるなど、来場されたお客様も V I P が多数おられ、講演会会場、懇親会会場ともに入りきれないほどの盛り上がりとなり、首脳陣、事務局ともども胸をなでおろした次第であった。

IRRSG 初登場の(株)いすゞ自動車研究所の賀川氏の講演から会場は早々と埋まった。内容も非常に貴重かつ分かりやすいもので、講演終了後も積極的な熱い質問が飛んだ。賀川氏のキャスティングに尽力いただいた GBMS の安見代表に改めて御礼申し上げたい。物質材料研究機構 (NIMS) の高田氏も IRRSG 初登場。高田氏のキャスティングには IRRSG 会と連携関係にある「(社) 未踏科学技術協会」の一助があった。未踏科学技術協会事務局の方々に改めて感謝の念を述べたい。神鋼リサーチ(株)の北浦氏も IRRSG 初登場。実は北浦氏は講演は初だが、IRRSG 草創期 (10 人未満のころ) のころから参加している IRRSG のレギュラーメンバーである。氏のリチウム資源の話とチリ SQM 社訪問記はふんだんに映像を使い、エンターテインメント性の高い講演で皆を楽しませた。

ということで、この 2009 年第二回例会は IRRSG が「自発的」に動き出した会として大きなターニングポイントを迎えた感じがした。この盛り up を今回だけにしてはいけない、との思いも高まるなか、早くも次回の開催日が決定した。

次回の IRRSG 例会 (第 10 回記念大会) は、9 月 18 日 (金)、学士会館で行う予定です。